

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



Rotary International District 2780
2024 - 2025

2024-2025年度ガバナー 佐々木 辰郎

RID2780地区テーマ

ロータリーのマジックを行動で示そう!



吉田邸



吾妻山公園



湘南平

吉田邸：戦後、内閣総理大臣を務めた吉田茂が晩年暮らした邸宅。2009年3月火災で焼失、その後再建された。
吾妻山公園：二宮町の憩いの場で箱根・丹沢・相模湾&大島等見渡せる360度の大パノラマ。菜の花も大人気！
湘南平：テレビ塔がシンボル！相模湾や平塚市内、箱根連山、富士山等の眺望が楽しめる湘南の名所。

クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ

国際ロータリー第2780地区
2024～25年度ガバナー

佐々木 辰郎

(大和田園RC)



『水と衛生月間に』

最初に、我が地区の元RI理事である、小沢一彦様が急逝致しました事を謹んでお悔やみ申し上げます。

小沢様は我が地区だけではなく、日本のロータリー、そして世界のロータリアンから慕われ、その功績については枚挙にいとまがないことごさいます。

我々、地区ロータリアンのあり方をご指導いただきました事を今、思い出され、今日ガバナーを務められるのは、小沢元RI理事のおかげと今も感じる事で御座います。

これからも、天上よりご指導を頂ければ幸いです。

さて、安全な水と衛生設備の利用は、すべての人がもつべき権利だと考えます。

なのに、汚染水で病気になる人や命を落とす人が世界では何と多く報道され、そして後を絶たないのでしょか。

特に、未来を担うはずの子どもたちが、水汲みなどの労働によって学校に通えず、つらい境遇を強いられています。

世界でどれだけの子供たちが生活の労働の為に教育を受けられずにいるだろうか？

ユニセフの調査によると、2021年時点で、2億4400万人の子どもたち（6歳～17歳）が学校に通えておらず、学校の終了率には地域によって大きな差があることが分かっています。

ヨーロッパ・中央アジアでは初等教育の終了率が99%である一方で、後発開発途上国では58%と、これらの国の子どもたちは、基本的な読み書きや計算すら学べない状況にあります。

ここで少し、権利について考えて見ましょう！

権利とは、法律や憲法によって保障される、個人や集団が持つ特定の行為を行うことができる能力や状態を指します。

これは、個人が社会の中で自由かつ安全に生活

し、自己実現を図るための基盤となります。権利は、個人の自由や尊厳を保護し、公正な社会秩序を維持するために不可欠です。

さて日本国憲法では、基本的人権として、生命、自由、財産の権利などが保障されており、これらは国家による不当な干渉から個人を保護する役割を果たしています。

また、権利には皆様ご存じの様に義務が伴います、個人は他人の権利を尊重し、社会のルールを守る責任があります。

例えば言論の自由を享受する権利がある一方で他人の名誉を傷つけてはいけないという義務があります。

この様に権利と義務は社会のバランスを保つために相互に関連しています。

我々、ロータリアンにも同様に権利と義務があります。

義務は皆様、良くご存じの様に1.例会への出席2.会費の納入3.ロータリー雑誌の購読です。

さて、それではロータリアンの権利は、何でしょうか？

世界のロータリーの規定のない例会、大会、その他のイベントに参加出来る事でしょう！

そして、そこで多くの素晴らしい方々とふれ合い、多くの知識と友達を得る事が出来る事ではないでしょうか！

さて、冒頭にも書きましたように、多くの子どもたちが生活の為にこの教育という権利を得られてない事を我々はこの月間に考えて見ましょう。

我々の行動が大きな変化をもたらすことが出来る事を我々は知っています、安全な水や衛生設備を提供し、衛生習慣をサポートすることで様々な機会が創出されます。

そして、世界の多くの子どもたちを基本的な教育を受けられる環境を少しでも作る事を考え行動致しましょう！



『マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ RI会長エレクト歓迎晩餐会』講演について

《次年度RI会長D2780地区歓迎会スピーチ概要》

私共2780地区にて次年度RI会長マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ様の歓迎を行える事の際緯は今は亡き、我が地区のリーダーである元RI理事小沢様に次年度RI会長が表敬訪問を申し出たところから、始まりました。

せっかくの機会である事から我が地区の皆さんとの交流の場を持ちたいとの考えで我が地区での歓迎晩餐会を行うこととなりました。

210名程のメンバーが急な事にもかかわらず、お集まり頂き心より感謝申し上げます。

そして、鎌倉パークホテルに水野RI理事、三木ロータリー財団管理委員ご夫妻にもご参加頂き盛大に歓迎会を行えたことを感謝申し上げますと共に、皆様の協力に御礼を申し上げます。

以下にマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長様の当地区でのスピーチ概要を綴り皆様の今後の活動の一助になればと考える次第です。

本日はこの様に多くの皆様にお集まりいただき誠に有難う御座います。

会員というのはロータリーの資産でありますので増強をしていくことが大切です。

もちろん会員となっている若い方、女性、高齢の方の会員維持も大切です。

インド、アメリカに次ぐ数の日本の会員ですから…2025-26年度は会員増強をしていくということが私の目標です。

簡単なことではないのですが会員増強ということが最も重要な課題であると思います。

また、ロータリーでは一方的な奉仕をするだけではありません。

家族と同様で、クラブや地区をどのように世代継承していくということも重要です。

会員の中にはクラブの運営に関心のない方もいるかもしれませんが、クラブとしてコミュニティを守るということを忘れないでください。

ですからクラブを次世代に継承していけるようにすることが、現会員の私たちの役目でもあるのです。もしそうしなければ私たちが今、持っているような元気なクラブが無くなってしまいかもかもしれません。

会員の答えは一つであるとは思っていません。それが、私が41か国を周ってこの日本にも来て思った感想です。

それぞれの地域、地区、クラブにおいて色々な歴史があるからです。

ですからエバンストンで決めたことが、すべての地区、クラブに適応するとは限りません。

私の役目というのは皆様のモチベーションを上げてクラブや地区を良い方向に進めることを手助けすることです。

もちろん日本はアメリカやインドやブラジルとも違いますから私は各地域の価値というのも理解しなければ目標を達成することはできないと思います。

ですから皆様のご自身で立ち上げて頂くために助言したりすることが私の役目です。人々を繋げるために私は働きます。

それぞれのクラブや地区が歴史や文化に沿った増強プランを立てて頂きたいのです。

たまに全て男性、全て女性のクラブについてどう思うかと聞かれることがあります。

私が思うにはそのコミュニティについての的確な判断されることだと思います。

成功例のレシピを作るということが我々のミッションでもあります。

私は指揮を執りますが地元で活動するのは皆様ご自身です。

しかし、それを上手く進められるかのヒントを私に与えたいと思います。

例えばイノベーションとは何でしょうか？

私の世代も若い人の世代も変わってきました。子供と言い争いをしたことが無い方は世の中に居ない



CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
『マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ RI会長エレクト歓迎晩餐会』講演について	3
危機管理セミナー	5

地区立法案検討委員会公開セミナー	6
第9グループ IMについて	7
第8グループ・クラブ紹介	8
元RI理事 小沢一彦パストガバナーを偲んで	11
新会員紹介 他	13

国際ロータリー

ですよ。

彼らは違う世代の人々なのです。

しかし、ロータリーの価値というのは変わりません。1年半の間で話した若者でその価値を分からないと言った人はいませんでした。

色々な考えを持った方を取り入れていくようなクラブ作りをしていきませんか？

例えば1例をお話します。

私の妻もロータリアンですが、私と同じクラブではありません。

実際には私のクラブに入ってくれと言ったのですが、妻は私と長い間一緒に時間を過ごしたからロータリー活動は別のクラブでしたいと言ったのです。

私が例会に行っている間は妻にとって安らぎの時間みたいです。

しかし妻がとった行動は衛星クラブを立ち上げる活動でした。私は地元でイノベーションが起きたというのを実感しました。

そして二つ目に大事なものは継続性です。

例えば一年毎に変わるような組織を改めて考えてみてください。でもそれがロータリーなのですけどね。

しかし一年間と限られた期間しかないという課題を乗り越えていかなければなりません。

ですから中心となる核のようなものの基盤となるものを引き継いでいかなければいけません。

そうしなければクラブの会長やRI会長になってもそれまでの物を壊してしまうという可能性もあります。

会員増強というところでも継続性というのが大事です。そうすれば自分たちも引き継がれていくのです。

かつて我々はポール・ハリスに学びました。私たち一人ひとりが何かを生み出すということではないのです。

私たちは歯車の一部だということを認識しながら継続していくことが我々の役目なのです。

次に繋がっていくガバナー、会長、幹事その他役職の方々をはじめ全員でワンチームという考えで行きましょう。

皆が違う価値観を持っていることもある程度承知しています。しかし知らないことで意見交換をすることはプラスになりますね。

ですが、すべてがロータリーを支えるためということも忘れないでください。

たまにクラブや地区のためにご自身の体を壊される方もいました。

でもそれはロータリー的なやりかたではありません。

ロータリーから得るものは友情です。

ですから色々な所へ行って友達の輪を広めましょう！

例えば私が所属している印刷業界に27人の社長がいました。

その中で何人かロータリアンになりました。でも色々な仕事をしている方がいます。

法律家や医者もいます。

私たちは誰が素晴らしいポテンシャルを持っているかわかりますね。

そのように考えたときにやはり職業分類といったロータリーの基礎に戻っているということが分かります。

歴史を大事にしながら未来を見ていきましょう。

ロータリーというのは私たちの世代が占有しているということではなく次世代に継承しなければならないということを忘れてはいけません。

私はロータリー以上にリーダーシップを教えるところは他にしりません。

例えばこのような場でスピーチすることを教えてくれたのもロータリーです。

ロータリーは公共の場で静かにすることを教えてくれました、たまに黙ってくれない方もいますけどね。

またロータリーが教えてくれたのは私が抱えている問題は他の人の問題より小さいということでした。

最後に世界中に友達を築くことの価値をロータリーが教えてくれました。

それは私がロータリーから頂いたことであって私がロータリーに提供したことはありません。

ですから私は44年間もロータリーを続けてこれたのだと思います。

これからカジュアルな雰囲気みなさんにお話ししたいと思います。

私のセオリーではリーダーには3種類の方がいると思います。

第1番目のタイプは「実現をするタイプのリーダー」です。

第2番目のタイプは「実現を待つタイプのリーダー」です。

第3番目のタイプは「何が起こったのと驚いているタイプのリーダー」です。

あなた方はどのようなリーダーになりたいのか、それはご自身が決めることです。

ありがとうございました。

以上がマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ次年度RI会長のスピーチ概要です。



『危機管理セミナー』

地区危機管理委員会

委員長 岡田英城
(横須賀RC)

1. セミナー概要

本セミナーでは、ロータリアンの危機管理に関する理解を深めることを目的とし、ハラスメント問題を中心に議論を行いました。(1月18日(土) ミナパーク 13:30~16:15 参加者 58名)

まず、「ロータリアンを守るには…」と題した26分間の音声付きPPTを視聴し、危機管理の基本的な考え方を学びました。(本資料は各クラブ卓話などにも活用可能です。)ここでは、ハラスメントや倫理的問題が組織の健全な運営に与える影響について解説し、重要な知識を提供しました。

続いて、10グループに分かれてガバナー補佐および地区幹事の進行のもとグループ討議を実施しました。はじめに「i-sightを通じて報告されたハラスメントの申立」に関するプレゼンテーションを行い、具体的なケースを基に意見交換を行いました。クラブ内での意識啓発活動の必要性や、外部専門家を活用した定期研修の導入などの提案があり、適切な対応策や予防策について活発な議論が交わされました。

さらに、「クラブ会員からのハラスメントの申立」に関する事例を紹介し、再度グループ討議を実施しました。組織内の透明性を確保するための仕組みづくりや、迅速な問題解決のための対応フローの確立について議論が深まりました。各グループの発表を通じて、今後の課題や対策について共有しました。

2. 主要な議論内容および意見

- ・ハラスメントの未然防止には、日常的な意識改革が重要。教育プログラムやガイドラインの策

定が必要。

- ・事案発生時の迅速な対応のため、各クラブで危機対応マニュアルを整備すべき。
- ・i-sightのような報告ツールを活用し、匿名性を確保しながら適切な対応を行う仕組みが重要。
- ・自然災害(能登半島地震)、紛争(ウクライナ・ロシア)、パンデミック(コロナ)のような外的危機にも備え、組織としてのBCP(事業継続計画)を策定すべき。
- ・青少年関係事業に関わるロータリアンは、定期的なケーススタディや訓練を通じて適切な危機対応能力を身につける必要がある。

3. 結論および今後の課題

本セミナーを通じて、ハラスメントをはじめとする危機管理の重要性が再確認されました。今後は、各クラブにおいて危機管理体制を強化し、定期的な研修や訓練を実施することが求められます。特に、クラブごとの危機管理責任者を設置し、迅速な対応が可能となる体制づくりが重要です。

また、ハラスメントのみならず、自然災害や国際的な危機などさまざまなリスクに備えた総合的な危機管理計画を策定し、継続的な見直しを行うことが必要です。クラブ単位だけでなく、地区全体としての連携も強化する必要があります。

本セミナーの成果を踏まえ、各クラブにおける具体的な対策の実施を促し、ロータリアンとしての責任を果たしていくことを確認し、より実践的なケーススタディを取り入れ、危機発生時の迅速な対応能力の向上を目指していく必要があると考えます。以上で危機管理セミナー報告とします。



『地区立法案検討委員会公開セミナー』



地区立法案検討委員会
委員長 佐野 英之
(秦野RC)

「規定審議会の重要性に就いて」

寒さが少し緩む1月24日の午後より、相澤ビル8F会議室に於いて、本地区33クラブ会長さん参加の下、当委員会主催の初のセミナーが開催された。開会セレモニーの後、本日の講師に、第2550地区バスターガバナー、現在財団第一ゾーン・コーディネーターの飯村慎一様をお招きし、規定審議会の重要性とリーダーシップとそれに伴うフォローアップ就いての題目で、御講演を頂く。講演会に於いては、講師本人が参加された2019年度規定審議会での体験談を中心とした話であった。

又、当委員会が作成した「多くのクラブが参加する制提案・決議案」のスライドを短時間放映後、参加者を三組に分け、各会場へ移動して頂く。各グループは11名前後の人員に分かれ、二人のファシリテーターを交え、スタートする。先ず、各自の自己紹介から始まり、スライドの感想を聞く。各参加者のクラブ会長さんの中には、会長の抱える現実の問題点や会長の立場での悩みなどが出る。この事は、クラブ会長さん達の生の声を直に聞け

る場と成った。

この様に、各会長は、上から一方的に連絡事項を聞くのではなく、クラブ会長自身の現実の悩みや問題点を、直に聞ける場を今後設けた方が良いのではなかろうかと思うが。そして、スライドの感想に就いては、「決議案」に就いて実例を今少し示して欲しいとの意見も出る。次に、本日のセミナーを受けてクラブ会長として今後どの様に対処するか質問では、自クラブに本日の内容を持ち帰り、クラブの皆さんが少しでも興味を抱く様に努力をして行きたいとの意見が多かった。短い時間で有ったが、皆さんの意見が多く出て、活発に意見を交わされた事は少し驚きでも有った。最後に一堂に集合し、各グループの発表後、ガバナーの講評で定刻に終了する。

今回のセミナーを開催して、各クラブ会長さん達の反応が、少しでも制提案・決議案に就いて興味を抱いてくれた事は、大変委員会としては喜ばしい事では無かったであろうか。皆さん、大変お疲れ様でした。



『第9グループ IMについて』

第9グループ
ガバナー補佐 **大川 久 弥**
(小田原城北RC)



2025年1月28日、湯本富士屋ホテルにて、第9グループインターシティミーティングを開催いたしました。ご来賓には勝俣箱根町町長をはじめ、佐々木ガバナー、そして地区関係者をお迎えし、200名を超える会員にお集まりいただきました。また受付では地区ポリオプラス委員会のご協力により、多くの会員にポリオ根絶のご支援を頂くことができました。

今年のIMはロータリーの原点に立ち返り、各クラブの奉仕プロジェクトに焦点を当てることとし、「奉仕に心を躍らせよう」をテーマにしました。

今年度のRIテーマ {ロータリーのマジック} を受け、佐々木ガバナーは地区テーマに「ロータリーのマジックを行動で示そう」を掲げられました。佐々木ガバナーは会員一人一人が地域社会で行動を起こし、より大きなインパクトをもたらすことを目指されています。

ロータリークラブは長年他人のことを思い遣り、人のために尽くしたいという衝動に駆られ、「超我の奉仕」を第一のモットーに世界各地でそれぞれの地域社会の発展に寄与してきました。

第9グループの7クラブが、それぞれ誇れる奉仕活動を行っていても、今まで自クラブ以外の奉仕活動に触れ合う機会があまりありませんでした。

そこで今回のIM・合同例会ではグループ内の7クラブに独自の奉仕活動をクラブ発表という形で紹介していただくことにしました。今回は当初か

ら外部からの講演者をお呼びするのではなく、会員全員で作りに上げるIMを目指しました。

そしてそれぞれ歴史も理念も異なる7クラブのストーリーを感じ取り、互いに切磋琢磨し、また明日からの新たな奉仕活動の糧にさせていただくことを期待し企画しました。

各クラブの発表資料製作者と発表者の皆様にはご負担をおかけしましたが、どのクラブも入念に準備した通り、創意工夫にあふれる発表で、会場の参加者を引き付けていました。

奉仕について学んだ後の懇親会では、アトラクションの琴の音色に酔いしれながら会員同士大いに親睦を深め、最後は「手に手つないで」を合唱し、時間を惜しみつつ閉宴となりました。

結びにホストクラブの足柄RCの皆様、勝又実行委員長を始めとする実行委員会の皆様、各クラブの発表者の皆様のご尽力により無事開催されましたことを感謝申し上げます。



平塚ロータリークラブ

会長 三 荒 弘 道

平塚ロータリークラブは1957年創立し会員数22名でスタートしてから、今年度69年目を迎え現在会員数66名でクラブ奉仕活動を展開し、特に今年度はR Iテーマ「ロータリーのマジック」を意識して活動しています。

2年後に70周年を迎えるにあたり、クラブビジョンを基軸とした行動プランの策定、継続と変化・奉仕と親睦・組織と財政のバランスを保つロータリー5大奉仕の構築など、未来を意識したクラブ活動を心がけています。

また70周年を視野に入れた会員増強と組織づくり、クラブ危機管理特別委員会の発足、ロータリー財団・米山・ポリオの寄付目標の達成、スリーイヤーズターゲットの設定及び財団補助金の活用とマイロータリー100%登録等、今すべき事を着実にすることも心がけております。更にはメンバーどの世代も居心地が良いクラブを目指し、楽しく、ためになる例会及び事業を実施しています。是非一度遊びに来て下さい。メンバー同心より歓迎申し上げます。



大磯ロータリークラブ

会長 田 中 敏 治

大磯ロータリークラブは1967年に平塚ロータリークラブをスポンサーとし創立され今年で57年を迎えます。第一、三、五木曜日の12時30分より大磯プリンスホテルにて、湘南の海を眼下に、晴天の日には大島まで一望できる素晴らしい景観のなか例会を行っています。現在の会員数は15名と少人数ではありますが多くの先人の智慧や弛まぬ努力を基に地域の方々との繋がりを大事にし、協力し合いながら地域貢献に取り組んでいます。

社会貢献事業としては大磯まつりに参画し町内の中学校吹奏楽部の生徒が自由に楽しみながら演奏できる機会を創出しています。また姉妹友好にも力を入れており姉妹都市である長野県小諸市とのスポーツ交流会事業も継続して実施しています。今年度大磯町では万博国際交流プログラムに選定された大磯こどもサミットを開催し継続的な国際交流を図る取組みを行っており、当クラブも過去に国際奉仕事業としてウガンダ共和国にトイレの建設支援・寄付を行った実績からウガンダからディクソンさんを招待し協力・参加しました。ウガンダ大使館、こども財団、ディクソンさんとのディスカッションなど大変有意義な時間となりました。今後も会員同士の親睦を深めながら活動を通じもっともっと楽しいクラブを目指していきます。



クラブ紹介

第8グループ

平塚北ロータリークラブ

会長 平 山 英 代

平塚北ロータリークラブは、創立55年です。青少年育成事業を中心に活動しています。支援活動として、平塚市少年野球大会・平塚ジュニアテニストーナメント・平子連ドッジボール大会・劇団四季公演・金目公民館祭り等です。奉仕事業としては、神奈川県立子ども自立生活支援センター（通称キラリ）にて年二回市民清掃活動に参加し、子供達に菓子パンを寄贈しています。子どもたちの嬉しそうな顔に元気をもらっています。キラリ祭では、ゲームコーナーを担当し、会員の協力です。



キラリ祭り



清掃活動

今年度は、地区補助金を活用して、平塚湘南ロータリークラブとの共同事業で、タンザニアの生徒たちに性教育等の支援活動を行います。当クラブは現在29名で内女性が6名です。例会場は、自然豊かな平塚総合公園レストラン大原です。



姉妹クラブ桃園RC

二宮ロータリークラブ

会長 加 藤 哲 也

二宮ロータリークラブは現在会員数が11名と少数のため、1つの円卓で例会を行っています。例会では500円ながらボリューム満点のお弁当を食べ、みんなで雑談ができる規模なので意思疎通もしやすく、仲良くロータリー活動を行っています。

近年は地区補助金を受けて、二宮町での子ども食堂・子どもパソコン教室を行い、また山西小学校への鳥小屋の寄贈など、子どもの事業に力を入れています。

本年は地区補助金を受け、中井町の木之花保育園で湘南ベルマーレフットサルクラブなどと協力して、幼児運動教室を4回開催しました。子どもたちの元気な声と笑顔に押され、一緒になってボールをおいかけ元気をいっぱいもらいました。はじめは体を動かすのが嫌々だった子が最後に率先して体を動かすようになるなど、子どもたちからお礼を言ってもらってよかったと実感しています。

今後とも少数精鋭で仲良く活動をしていきますので、ぜひ名物500円弁当を食べに例会にお越しください。



平塚西ロータリークラブ

会長 近藤 直樹

平塚西RCは来年50周年を迎えます。ただ1人いるチャーターメンバーに50年間の歴史を振り返って戴いた講演を予定しております。また米山奨学生も受け入れております。

今年度は『能登半島地震募金及び水害募金』をクラブで立ち上げ、令和6年11月24日に『ひらつか市民活動センターまつり』に参加し、『ポリオ撲滅キャンペーン募金』と共に、入会の新しい会員を中心に街頭募金活動を行いました。

皆、街頭募金の経験をしたことがないので、頼りになるのは昔からの会員の行動力でした。この活動を行ったことで、新旧の会員の融合が起こり、そして学び、一体感が生まれました。

会員や一般の皆様からお預かりした募金50万円を「支援金」として12月3日に輪島RCに届けに行き参りました。支援金はお金を生み出し、次の復興に継続的に繋がっていくものに使って戴きたいとクラブの要望を伝えて参りました。残りも活動的・積極的に動きます！



『ひらつか市民活動センターまつり』



『能登半島地震募金及び水害募金』



『家族親睦クリスマス会』



『米山海岸清掃』

平塚湘南ロータリークラブ

会長 関口 直美

1991年1月に創立した当クラブの会員数は49名。幸いチャーターメンバーの多くが健在であり、会員一同、年齢・性別にかかわらず心をつなげて、和気あいあいと独自の奉仕活動に取り組んでいます。

今年度は、例会の出席率向上とフードロス対策を目指してテーブルミーティング制を導入したほか、平塚盲学校の児童・生徒さんを相模湾にお招きする「漁船乗船体験」、当クラブ会員をはじめとする各分野の専門家が市民の皆さまのさまざまな疑問やお悩みにお応えする「なんでも相談会」などを実施してきました。

年度内には、平塚北ロータリークラブとともにタンザニアの小中学校に生理用品を贈り、保健指導（性教育）の一助としていただくためのプロジェクトの完遂を目指し、鋭意準備を進めているところです。

これらの奉仕活動は、いわばRIと地区のテーマに即した当クラブの「マジック」であり、創立35周年を迎える来期以降にしっかりバトンを託したいと考えています。



盲学校漁船体験



なんでも相談会



タンザニア大使館

『元RI理事 小沢一彦パストガバナーを偲んで』



おざわ かずひこ
小沢 一彦 (横須賀)

2025年02月13日逝去 (享年87歳)

ロータリー入会年月 1978年 2月 1日

1994～95年度 クラブ会長

2000～01年度 R I 第2780地区ガバナー

2007年～09年 R I 理事

2010年～14年 R I 財団管理委員

2014年～18年 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事長

2018年 9月～現在

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

名誉理事長

公益財団法人ロータリー日本財団 副理事長

ポリオプラス日本担当アドボカシーアドバイザー

アーチ・クラフ・ソサエティ

ポール・ハリス・ソサエティ

第69回 米山功労者メジャードナー

PG 松宮 剛 (茅ヶ崎湘南RC)

「これからこそ、変わることの無い言葉を！」

クラブ、地区、ゾーン、RI、そのすべてに亘って影響力を持ち、強い牽引力を発揮されていたロータリーのリーダーたる小沢一彦さんが、突然旅立たれました。しかもどなたもご存知の通り、小沢さんのリーダーシップはロータリーに留まらず広範なものでした。私にとって最初の記憶は、第259地区最後のガバナー谷口榮年度横浜での集会で(故)河本さん、(故)古舘さんと共にステージに立たれた青少年関連委員長のお姿です。恰幅もよく押しの効いた話しぶりが臉に浮かびます。私は思います。あれほどの力を発揮された方の苦悩や孤独感はいかほどであったかと。方法論には批評もありました。しかし、それは達成された事柄の持つ普遍性に確たる自信をお持ちだったからこそなのだと。私たちに不在の空虚にひたる暇はありません。これからこそ、小沢さんの変わることの無い強い言葉に耳を傾けなければなりません。合掌

PG 山地 裕昭 (足柄RC)

偉大なる元R I 理事小沢一彦様の訃報は、日本国内はもちろんのこと、世界中に発信され悲しみに包まれております。ますます、変質していくといわれるロータリーの中、小沢元R I 理事に私たちが行くべき道標をと思っていた矢先、突然座標を失ってしまいました。が、いつもの言葉が胸によぎってきました。「安易な踏襲と無責任な妥協はするな!!前向きな試行錯誤こそ、恐れてはならぬ明日へのロータリーへの第一歩である。」という言葉に肝に銘じて精進致します。願わくは私どものロータリー人生の行路を導き給わんことを。合掌

PG 後藤 定毅 (大和中RC)

人の命が有限であることを頭の中で理解できても、いざその境遇に自分が置かれると、なぜ、どうしてと悶々と考えてしまうこと、まさに「切なきものは命なりけり」に尽きるように思います。

「人生は誰にでも平等に一度だけ、だから頑張れよ」と、励まされたことがあります。小沢さんを失い虚無感が収まりませんが、残った者は、自分の人生をしっかりと歩め、というのが小沢さんの意図だったかも知れません。同じ時代に小沢さんのような人と巡り合えて幸せでした。

PG 菅原 光志 (鎌倉RC)

「小沢一彦 大先輩 R I のボスを偲んで」

ロータリーに入会して20年過ぎたころ、ボスがR I 理事でロータリー研究会に初めてAGも出席を許可され、出席したときの感激は忘れることができません。ロータリーが益々好きになり頑張ろうと思えました。ボスがモントリオール国際大会の役員をしていたので、2780地区から100名以上出席させると鎌倉RCから20名の依頼があり18名で出席しました。その後何回か国際大会に同行し、楽しい思いが多数あり、ありがたく感謝しております。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

PG 相澤 光春 (ふじさわ湘南RC)

私にとってかけがえのない大先輩小沢一彦さんが令和7年2月、87歳で逝去された訃報に接し、心に大きな空洞が開いたような喪失感を抱きとても残念でなりません。

小沢さんは昭和52年日本青年会議所会頭に就任され、重鎮な存在であり私が神奈川ブロック協議会の会長予定者であった昭和62年にご挨拶に伺って以来、ご指導賜りました。

思い出の一つとして、小沢さんがRI第2780地区ガバナー時、平成12年10月の地区大会式典で、小沢さんの取り計らいで、ふじさわ湘南RCの認証状の伝達をRI会長エレクト、リチャード・キング氏から受け、とても感謝しています。

PG 田中 賢三 (茅ヶ崎RC)

小沢様には平成16年から3年間、商工会議所神奈川県連会議にてお世話になりました。それを契機と

追悼

してロータリー活動においても誠に貴重なご指導を頂き、素晴らしい先輩として尊敬を申し上げておりました。国際大会はじめ機会あるごとに親しく体験談や時にはジョークをまじえ、長時間話を聞かせて頂きました。茅ヶ崎ロータリークラブ3000回記念例会でも御講話を頂きました。小沢様の体験談は全てにおいて大きくて深く、多彩であるため小沢様の全貌を知ることが出来ていないことが心残りです。常に感じることは「みんなで仲良く楽しくやるように」と話されており、人情味あふれる偉大な方でした。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

PG 佐野 英之 (秦野RC)

故小沢一彦様大先輩に対し、謹んでお悔やみ申し上げます。

顧みますと、私がガバナーエレクトで、米国サンディエゴに研修で出掛けた際、期待と不安一杯の中、大会会場入り口で小沢様のお出迎え受け、夫婦共々大変感激をし、更にこれから始まる研修会に小沢様の力強い一言「佐野、頑張れ」が今でもはっきりと脳裏に残っております。又、この様な貴重な体験に於いて、私に対する叱咤激励、細かな心配り等々、二度と味わえない経験が、今でも大変懐かしく感じられます。

小沢様が築かれて来られた、この素晴らしい第2780地区を更に、一致団結の元、皆さんで守って行きたいと思っております。合掌

PG 大谷 新一郎 (相模原南RC)

ご逝去を悼み謹んでお悔みを申し上げます。

12月の諮問委員会ではお元気なお姿で出席され、委員会後の忘年会では私どもに色々ご指導いただいたことを考えますと、突然のご逝去には唯々驚くばかりでした。

私のガバナー時には、知識の無さ・経験不足から幾度となく小沢PGにご相談し、的確なご指導をいただきました。そのたびに小沢PGのお考え、行動力のすごさに心から尊敬の念を持った次第です。

小沢PGのわが地区に対する愛情を継続していくのが私どもの責任と思っております。ありがとうございました。

PG 脇 洋一郎 (茅ヶ崎湘南RC)

元RI理事の小沢一彦様の訃報に接して悲しみに耐えられません。今から7年前、私はガバナーエレクトとして家内とともに米国サンディエゴでの7日間の研修に参加しました。羽田を出発して研修会場のホテルに到着した時、小沢様は私達を笑顔で出迎えてくれました。あの笑顔に私達は励まされました。私のガバナー年度にも温かくご支援していただきまし

た。ロータリーを牽引された小沢様の功績は素晴らしいものでした。ご冥福をお祈りします。

PG 杉岡 芳樹 (相模原RC)

小沢一彦氏のご逝去を悼み、心より哀悼の意を表します。小沢氏はロータリーや地域社会の発展に尽力され、多大な功績を残されました。

この10年ほど、年2回、話を伺う機会を設けていただきました。ほぼ毎回2時間超、小沢さんの独壇場で、ロータリー、商工会議所や多くの話題に、衰えない記憶力と洞察力そして話術に圧倒される時間を過ごすことを楽しみにしていました。今も心に残ります。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

PG 久保田 英男 (鎌倉RC)

「理屈より行動しなさい」ガバナー指名の後、小沢PGから贈られた大切な一言。RI理事、財団管理委員などの役職ばかりが目立つのですが、かながわ湘南RCを設立し、新しいRC像を実践躬行、東日本大震災における財団の補助金に柔軟な対応を実現するなど、実行力と説得力を示された氏の言葉には重みがありました。

もっと学びたかった…残念でしかありません。心からより感謝と哀悼の意を申し上げます。RIP

PG 佐藤 祐一郎 (津久井中央RC)

突然の訃報に接し、ご家族並びに関係者の皆様には心より弔意を表します。

クラブ、地区、日本、そして世界のロータリーを牽引なされ、決議23-34の手続要覧掲載継続、「ロータリー東日本震災復興基金」構築など、そのご功績は仰ぎ見る巨星の如くでありました。

又、バストガバナーがガバナーの権限や責務を妨げることの無いよう率先、現職ガバナーは皆大きなご助力をいただきました。

言葉は尽きませんが、ご冥福をお祈り申し上げます。

PG 田島 敏久 (相模原西RC)

【巨星墜つ】とは、正に、小沢PGの2月13日AM2時13分死亡報告です。小沢先生は、12月にGOLFを80前後で回られ、今年も2月に入り、宮古島でGOLFを2週間予定していたと伺っていました。

先生より、ROTARYと人生の生き方をMAN TO MANで指導を受けました。上の目線を指摘され、職業(医師)の為か、実は気付来ませんでした。先生は『争いのない地区』を常々に言われました。最後に、謹んでお悔やみ申し上げます。

新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



なかはし たかみ
中橋 多佳実
①相模原かめりあ
②2025. 01. 01
③飲食業
④田島富美子、
落合 悦子



つの ふみや
津野 郁也
①藤沢西
②2025. 01. 09
③飲食業
④駒井 洋之



あつみ ひでき
渥美 秀樹
①大和中
②2025. 01. 09
③ホームページ作成
④北砂 明彦、
横澤高太郎



しむら まさとし
志村 真利
①相模原グリーン
②2025. 01. 10
③造園・園芸・植木
④中村 昌治



こばやし たかひと
小林 貴人
①茅ヶ崎中央
②2025. 01. 15
③建築
④湯山 文夫



こばやし まさひと
小林 雅人
①茅ヶ崎中央
②2025. 01. 17
③団体
④湯山 文夫



まま しげじ
真間 繁治
①大磯
②2025. 01. 17
③不動産業
④吉川 稔



のむら たけし
野村 武士
①三浦
②2025. 01. 30
③不動産業
④加藤 隆史、
高橋 孝典



いざわ ゆうじ
伊澤 佑二
①大和中
②2025. 01. 30
③住宅建築
④中村 友彦



まつかわ たろう
松川 太郎
①横須賀
②2025. 01. 31
③不動産賃貸
④佐久間博一



ほりかわ たいき
堀川 泰輝
①横須賀
②2025. 01. 31
③情報通信システム
④濱田 恵里



なえむら しゅん
苗村 俊
①相模原南
②2025. 02. 03
③公認会計士
④中村 好孝、
小林大二郎



すずき まさひろ
鈴木 雅宏
①藤沢
②2025. 02. 05
③各種学校
④田中 正明



ほそや かつとし
細谷 勝利
①相模原
②2025. 02. 06
③郵政事業
④杉岡 芳樹



かがわ じゅん
加川 淳
①平塚
②2025. 02. 06
③保育園運営
④三荒 弘道



みやげ たかゆき
三宅 貴之
①小田原中
②2025. 02. 06
③電気事業
(電気器具小売)
④吉澤 芳之



いのうえ さとし
井上 智史
①横須賀
②2025. 02. 07
③機械製造
④小沢 一彦



おくやま ゆうじ
奥山 悠治
①平塚西
②2024. 12. 25
③配管・土木業
④小澤 圭



みやがわ ひろゆき
宮川 博行
①平塚北
②2025. 01. 07
③公証人
④荻谷 政夫

訃報 ご冥福をお祈り致します



おか まさひろ
岡 昌憲 (横須賀)
2025年01月28日逝去 (享年80歳)
1988年 8月 入会
2000~01年度 地区副幹事
2007~08年度 " "
2010~11年度 クラブ会長
2015~16年度 第1グループガバナー補佐
マルチプルPHF+2/ベネファクター
第5回米山功労者マルチプル

第2780地区 2025年1月末 会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数										
			1月末		年 初 7月1日		本年度入会者		本年度退会者		本年度増減		
			男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	
1	横 須 賀	4	117	17	115	16	6	1	4	0	2	1	
	横 須 賀 北	3	20	5	20	5	0	0	0	0	0	0	
	三 浦	4	59	6	57	5	2	1	0	0	2	1	
	横 須 賀 西	5	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0	
	横 須 賀 南 西	3	14	1	15	2	0	0	1	1	-1	-1	
	横 須 賀 RAC	2	9	1	8	1	1	0	0	0	1	0	
				234	30	230	29	9	2	5	1	4	1
				225	29	222	28	8	2	5	1	3	1
				9	1	8	1	1	0	0	0	1	0
				164	34	162	35	6	1	4	2	2	-1
2	鎌 倉	3	69	12	68	12	2	0	1	0	1	0	
	逗 子	3	40	6	39	6	1	0	0	0	1	0	
	鎌 倉 大 船	4	14	0	13	0	1	0	0	0	1	0	
	葉 山	4	17	4	17	4	0	0	0	0	0	0	
	鎌 倉 中 央	2	16	6	14	5	2	1	0	0	2	1	
	鎌 倉 RAC	2	8	6	11	8	0	0	3	2	-3	-2	
				156	28	151	27	6	1	1	0	5	1
			8	6	11	8	0	0	3	2	-3	-2	
3	藤 沢	3	40	10	40	10	3	1	3	1	0	0	
	藤 沢 西	3	20	1	19	1	1	0	0	0	1	0	
	藤 沢 東	2	29	6	28	6	2	0	1	0	1	0	
	藤 沢 北 西	3	12	1	13	2	1	0	2	1	-1	-1	
	藤 沢 南	2	47	8	45	8	3	1	1	1	2	0	
	藤沢南デイスカパーローター衛	1	24	3	22	3	2	0	0	0	2	0	
	ふじさわ湘南	2	34	0	34	1	2	0	2	1	0	-1	
	かながわ湘南	3	19	12	19	12	0	0	0	0	0	0	
	アーカス湘南	4	3	2	3	2	0	0	0	0	0	0	
	イノベーションゲートウェイ湘南	1	39	4	39	4	0	0	0	0	0	0	
	かながわDEI	2	21	5	20	4	4	2	3	1	1	1	
			288	52	282	53	18	4	12	5	6	-1	
4	茅 ヶ 崎	4	46	4	46	5	1	0	1	1	0	-1	
	寒 川	3	37	3	37	3	0	0	0	0	0	0	
	綾 瀬	3	34	1	37	1	0	0	3	0	-3	0	
	茅 ヶ 崎 湘 南	3	42	1	42	1	1	0	1	0	0	0	
	茅 ヶ 崎 中 央	4	49	2	49	2	2	0	2	0	0	0	
	綾 瀬 春 日	3	20	0	23	0	1	0	4	0	-3	0	
				228	11	234	12	5	0	11	1	-6	-1
5	相 模 原	3	67	9	66	8	4	1	3	0	1	1	
	相模原グリーン	3	45	4	45	4	1	0	1	0	0	0	
	津 久 井 中 央	3	24	4	24	4	0	0	0	0	0	0	
	相模原橋本	3	77	10	70	9	7	1	0	0	7	1	
	相模原ニューシティ	2	53	6	45	6	8	0	0	0	8	0	
	相模原おださが	2	33	2	30	2	3	0	0	0	3	0	
	相模原RAC	3	30	14	32	13	3	3	4	2	-1	1	
			329	49	312	46	26	5	8	2	18	3	
			299	35	280	33	23	2	4	0	19	2	
			30	14	32	13	3	3	4	2	-1	1	
6	厚 木	4	35	1	34	1	1	0	0	0	1	0	
	大 和	3	29	4	31	4	0	0	2	0	-2	0	
	大 座 間	3	31	3	30	3	1	0	0	0	1	0	
	大 和 中	3	27	1	24	1	3	0	0	0	3	0	
	厚 木 中	3	21	0	23	1	1	0	3	1	-2	-1	
	大 和 田 園	4	23	1	25	1	0	0	2	0	-2	0	
	大 海 老 名	2	53	5	49	5	4	0	0	0	4	0	
	海 老 名 櫻	3	35	5	34	5	1	0	0	0	1	0	
	厚 木 県 央	3	37	4	37	4	0	0	0	0	0	0	
	本 厚 木	2	34	3	33	3	2	0	1	0	1	0	
	厚 木 中 RAC	1	4	1	4	1	0	0	0	0	0	0	
			329	28	324	29	13	0	8	1	5	-1	
			325	27	320	28	13	0	8	1	5	-1	
			4	1	4	1	0	0	0	0	0	0	
7	秦 野	3	50	8	50	7	2	1	2	0	0	1	
	伊 勢 原	4	52	4	48	4	6	0	2	0	4	0	
	秦 野 中	4	37	1	35	1	3	0	1	0	2	0	
	伊 勢 原 中 央	3	13	0	13	0	0	0	0	0	0	0	
	秦 野 名 水	2	14	6	15	6	0	0	1	0	-1	0	
	伊 勢 原 平 成	2	22	2	22	2	0	0	0	0	0	0	
				188	21	183	20	11	1	6	0	5	1
8	平 塚	4	64	6	58	4	6	2	0	0	6	2	
	大 磯	2	15	3	15	3	2	0	2	0	0	0	
	平 塚 北	3	29	6	26	6	4	0	1	0	3	0	
	二 宮	2	11	4	11	4	0	0	0	0	0	0	
	平 塚 西	3	25	1	24	1	2	0	1	0	1	0	
	平 塚 湘 南	3	48	9	49	9	1	0	2	0	-1	0	
				192	29	183	27	15	2	6	0	9	2
9	小 田 原	3	71	4	65	4	6	0	0	0	6	0	
	湯 河 原	3	20	3	20	3	0	0	0	0	0	0	
	箱 根	3	35	2	35	2	1	0	1	0	0	0	
	小 田 原 北	3	26	1	25	1	1	0	0	0	1	0	
	小 田 原 城 北	3	38	4	36	4	3	0	1	0	2	0	
	小 田 原 中	3	49	5	49	5	0	0	0	0	0	0	
	足 柄	3	27	3	20	1	7	2	0	0	7	2	
	小 田 原 城 北 RAC	0	5	2	5	2	0	0	0	0	0	0	
				271	24	255	22	18	2	2	0	16	2
				266	22	250	20	18	2	2	0	16	2
				5	2	5	2	0	0	0	0	0	0
10	相 模 原 南	3	50	9	45	9	5	0	0	0	5	0	
	相 模 原 中	3	26	4	28	4	0	0	2	0	-2	0	
	相 模 原 西	3	37	3	39	3	0	0	2	0	-2	0	
	相模原西令和大野ローター衛	1	6	2	6	2	0	0	0	0	0	0	
	相 模 原 東	2	16	2	16	2	1	0	1	0	0	0	
	相 模 原 柴 胡	2	25	3	25	3	0	0	0	0	0	0	
	相 模 原 か め り あ	2	29	26	32	29	1	1	4	4	-3	-3	
			189	49	191	52	7	1	9	4	-2	-3	
			67	2,356	303	2,296	300	124	15	64	12	60	3
			5	56	24	60	25	4	3	7	4	-3	-1
			2,412	327	2,356	325	128	18	71	16	57	2	

本年度入会者数(人)		本年度退会者数(人)		本年度会員数増減数(人)		地区内クラブ		地区内会員総数(人)	
RC	124 (15)	RC	64 (12)	RC	60 (3)	RC	67	RC	2,356 (303)
RAC	4 (3)	RAC	7 (4)	RAC	-3 (-1)	RAC	5	RAC	56 (24)

()内は 女性会員

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

2024~2025 Governor

Tatsuro Sasaki

■OFFICE / Aizawa Bldg. #1, 5F,
22-7-501 Minami-Fujisawa,
Fujisawa-city, Kanagawa
251-0055 JAPAN
Tel: +81-466-25-8855 Fax: +81-466-25-8866



2024~2025年度ガバナー

佐々木 辰郎

■事務所 / 〒251-0055
藤沢市南藤沢22-7-501 第一相澤ビル5階
Tel: 0466-25-8855 Fax: 0466-25-8866
E-mail: g-office@rid2780.gr.jp
URL: https://rid2780.gr.jp